

骨太方針 2025 が閣議決定 病床削減・OTC 類似薬の保険給付見直し

6 月 13 日、「経済財政運営と改革の基本方針 2025」いわゆる骨太方針 2025 が経済財政諮問会議での答申を経て、閣議決定された。方針の中から医療・介護に係る取組について紹介する。

OTC 類似薬の保険給付の在り方

OTC 類似薬（類似の市販薬が存在する医療用医薬品）について、医療機関における必要な受診を確保し、子どもや慢性疾患を抱えている方、低所得の方の患者負担などに配慮しつつ、個別品目に関する対応について適正使用の取組の検討や、セルフメディケーション推進の観点からスイッチ OTC 化に向けた実効的な方策の検討を行う。

事前に行われた 3 党（自民党、公明党、日本維新の会）合意では、OTC 類似薬の保険給付見直しについて、「2025 年末までの予算編成過程で十分に検討し、早期に実現可能なものについては 2026 年度から実行する」とした。また、政府目標の「2023 年末時点で海外 2 カ国以上でスイッチ OTC 化されている医薬品のうち、日本で対応していない医薬品を 2026 年

末までに OTC 化する」の達成に向けて着実に取組を進める。

地域フォーミュラ

地域単位でフォーミュラ※を策定することで、地域医療の標準化が進み、医療費適正化の効果も期待できるが、現状導入している地域は少ない。後発医薬品の更なる使用促進や患者の自己負担抑制等の観点から、各地域において策定されるよう取り組みを促進する。

※一般的に「医療機関等において医学的妥当性や経済性等を踏まえて作成された医薬品の使用方針（複数の治療薬がある慢性疾患において後発品を第一優先とする等）」を意味する。

新たな地域医療構想に向けた病床削減

骨太方針では具体的な削減目標は記載されなかったが、3 党合意で、一般病床と療養病床の必要病床数を超える病床数約 5 万 6000 床と、精神病床の基準病床数を超える病床数約 5 万 3000 床を合算した「約 11 万床」を、2040 年を見据えた新たな地域医療構想が始まる 2027 年度までに「調査を踏まえて削減を図る」と記載された。

医療 DX

医療 DX 工程表に基づき、医療・介

護 DX の技術革新の迅速な実装に必要な支援を行いつつ、政府を挙げて強力に推進する。このため、医療 DX の基盤であるマイナ保険証の利用を促進しつつ、2025 年 12 月の経過措置期間後はマイナ保険証を基本とする仕組みに円滑に移行する。電子カルテ情報共有サービスの普及や電子処方箋の利用拡大等を進めるほか、標準型電子カルテの本格運用の具体的内容を 2025 年度中に示すことも含め検討し、促進する。

3 党合意では、現時点で電子カルテ普及率が約 50％であることを鑑み、普及率約 100％を達成するべく、5 年以内の実質的な実現を見据え医療機関の電子化を実現することが記載された。

現役世代に負担が偏りがちな構造の見直しによる応能負担の徹底

3 党合意では「税制における確定申告の有無により負担等が変わる不公平な取り扱いを是正する必要がある」とし、後期高齢者への現役世代からの支援金負担の軽減に配慮すると記載された。

生活習慣病の重症化予防

3 党合意では、がんを含む生活習

慣病の重症化予防の推進は、患者の QOL 向上や健康寿命の延伸だけでなく、医療費の抑制効果が期待できるため、糖尿病に起因する下肢切断の回避や、ヘリコバクター・ピロリの除菌治療による胃がんの発症予防といった疾病予防が医療費に与える影響分析を進めるとともに、糖尿病性腎症の重症化予防等におけるデータヘルスの取組の推進など、生活習慣病の重症化予防、リスクに応じたがん検診等の充実による早期発見・早期治療に取り組んでいく。併せて、医療 DX の推進による医療情報等の共有の取組を進める、と記載された。

その他

高額療養費制度について、長期療養患者等の意見を聴取したうえで、2025 年秋までに方針を決定する。妊娠・出産・産後の経済的負担の軽減のため、2026 年度を目途に標準的な出産費用の自己負担の無償化に向けた対応を進めること、医療・介護・障害福祉等の賃上げなどが盛り込まれた。

支払基金長野支部 審査委員 84 名を委嘱、新任は 12 名

社会保険診療報酬支払基金長野支部の審査委員が、5 月末の任期満了に伴い新たに委嘱され、委員名簿を開示請求した。名簿は今回も氏名（50 音順）のみが示された。審査委員は支部長よ

り委嘱され、任期は本年 6 月 1 日より 2027 年 5 月 31 日までの 2 年間。名簿は下表の通り。今期は退任が 12 名（医師 9 名、歯科医師 3 名）で、内訳含め同数が入れ替わった。

社会保険診療報酬支払基金長野支部審査委員名簿 2025 年 6 月 1 日現在（敬称略）

氏 名		参考			氏 名		参考			氏 名		参考		
		科	期	従事地			科	期	従事地			科	期	従事地
赤池 正宏	歯	4	坂城町	診	小林 智美	薬	3	松本市	薬	洞 和彦	内	5	中野市	病
赤羽 邦夫	内	6	長野市	診	佐藤 清隆	内	2	須坂市	診	堀 豊政	歯	11	松本市	診
天野 芳郎	小	新	長野市	診	塩ノ崎 文博	内	11	松本市	診	本道 隆明	産婦	3	長野市	病
飯島 和芳	泌	新	長野市	病	塩原 正明	小	8	塩尻市	診	松澤 賢治	内	8	上田市	病
石井 亘	内	2	長野市	病	清水 武	歯	3	長野市	診	松澤 賢二	歯	4	飯田市	診
石田 文宏	内	3	松本市	病	清水 雄策	脳内	3	伊那市	病	松澤 智由貴	歯	3	塩尻市	診
市川 竜司	歯	6	上田市	診	白鳥 一明	心外	新	佐久市	病	松田 正之	内	5	池田町	病
市川 能人	内	3	千曲市	診	菅沼 香	歯	7	駒ヶ根市	診	丸山 起誉幸	消外	5	諏訪市	病
稲葉 雄二	神小	4	安曇野市	病	杉浦 宏子	精	6	中野市	病	丸山 久雄	歯	新	松川村	診
井上 敦	神内	11	木曽町	病	砂原 優一	歯	3	松本市	診	溝口 圭一	内	8	下諏訪町	診
岩澤 幹直	形成	11	飯山市	病	関元 博	内	2	諏訪市	診	宮 正彦	整	3	小諸市	病
上原 忍	歯外	4	上田市	病	袖山 治嗣	内	6	長野市	診	宮嵩 敦	皮	4	諏訪市	診
牛山 千冬	内	5	岡谷市	診	田内 克典	外	8	松本市	病	宮澤 正久	呼外	2	長野市	病
大澤 道彦	脳外	11	上田市	病	高木 啓倫	内	10	小諸市	診	宮下 暢夫	神内	4	上田市	診
太田 康晴	内	8	長野市	診	高見澤 滋	小外	4	安曇野市	病	宮下 尚夫	産	4	上田市	診
落合 公昭	歯	5	諏訪市	診	高見澤 一伸	歯	4	佐久市	診	宮下 裕介	循内	新	長野市	病
笠井 宏二	歯	2	長野市	診	瀧澤 勉	整	新	長野市	病	宗像 康博	外	10	長野市	病
春日 好雄	外	8	長野市	病	武居 彰	皮	7	長野市	診	村田 志保	精	2	長野市	病
片桐 有一	循	3	飯田市	病	武田 毅	内	6	長野市	診	森 浩二	内	6	上田市	病
北村 文明	産	新	松本市	病	多田 剛	脳外	11	安曇野市	診	森本 哲	小	新	駒ヶ根市	病
木下 久敏	整外	4	上田市	病	土田 実	歯	新	下諏訪町	診	森山 聡	内	7	飯田市	診
清野 良文	整	4	長野市	病	筒井 洋	循内	4	諏訪市	病	矢澤 卓	内	8	飯田市	診
具志堅 進	外	6	松本市	病	中村 潔	消内	11	長野市	診	山岡 清明	整	3	飯田市	診
熊谷 信	薬	2	諏訪市	薬	根津 公教	耳	新	長野市	病	山口 建二	泌	6	松本市	病
高野 次郎	内	10	中野市	診	野口 綾	歯	新	小布施町	診	山崎 善隆	呼	3	須坂市	病
河野 哲也	心外	3	長野市	病	野中 隆久	眼	11	安曇野市	診	横田 耕二	形成	11	松本市	診
河野 由起	内	新	松本市	(診)	平井 一也	内	6	長野市	(病)	吉澤 要	内	11	上田市	(病)
小林 睦博	内	11	飯田市	病	保谷 卓男	眼	5	長野市	(診)	若林 真	薬	6	飯綱町	薬

※「氏名」は、社会保険診療報酬支払基金長野支部が公表した「氏名」のみ 50 音順の「審査委員名簿」による。
※「参考」の「科」および「従事地」は『長野県医療名鑑』（2024 年 4 月 1 日時点）や病院ホームページ等を参考にした。診…診療所、病…病院、薬…薬局。（ ）は元職従事。
※「参考」の「期」は、医師・歯科医師については名簿公表の 2005 年を起点に何期目を示したものであり、「11 期」は便宜的なもの。10 期からは文字通り。「新」が新任。薬剤師の審査委員については、2011 年に薬剤師枠が新設された。

6 月 15 日、長野市の表参道セントラルスクウェアで「信じられる未来へ！ 6・15 長野県民のつどい」が開催され、県内から参加した約 500 人の市民らが消費税の緊急減税やジェンダー平等社会の実現などを訴えた。県保険医協会からは宮沢裕夫会長が呼びかけ人として参加した。宮沢会長は開会挨拶で「政府は高額療養費制度の負担上限額の引き上げについて秋までに方針を決定するとしているが、患者への重い負担を強いる政府案は白紙撤回すべき。また、平和なくして国民の命と健康を守る医療は提供できない。参議院選挙では、憲法の精神に基づき、いのちと暮らしを守り、社会保障を充実させる政策掲げる議員が多数を占めるよう期待したい」と述べた。集会には立憲民主党の杉尾秀哉参議院議員、社会民主党の大椿ゆうこ参議院議員、日本共産党の武田良介前参議院議員が駆け付け連帯の挨拶があったほか、当日は公務で参加できなかった立憲民主党の羽田次郎参議院議員が音声メッセージを寄せた。また、特別ゲストとして登壇した市



ブラカードを掲げてアピール

民運動家の菱山南帆子氏からは、「今は未来が信じられない状況になりつつある。今回の集会のテーマ『信じられる未来』には、この言葉のもとに野党が一丸となってたたかい、若者に『信じられる未来』を手渡していく決意を込めた」「投票率が 60％を超えれば必ず社会が変わる。投票率を上げられるよう若者に訴えていこう」と呼びかけ、参加者全員でブラカードを掲げてのアピールも行われた。

集会の最後に、「今年の参議院選挙は、私たちの暮らしと未来を守る、とても大切な選挙です。市民と野党が力を合わせて、誰もが安心して生きられる社会、優しさと公正さがあふれる新しい政治を一緒につくっていきましょう」とする集会アピールを採択、長野駅前までをパレード行進し「私たちの一票で未来を変えよう」と訴えた。